

2023 年度事業報告

2023/4/1－2024/3/31

東京学芸大学 ICT/情報基盤センター

1 学内教育研究推進事業

1.1 情報基盤事業

(1) 情報処理システム運用・管理

- ・学内情報基盤としての、ネットワーク機器・サーバ機器・提供情報サービスの運用・管理を適正に行った。また、教職員や学生等の構成員への情報関連のサポート（各種システム関連機器不具合・研究室等への導入機器接続・全学に配備した無線 LAN への接続等）を行った。〈予算 A〉
- ・講義棟無線 LAN の DHCP 配布 IP が枯渇しネットワーク接続できない事象が発生したため、リース可能な IP アドレス数を広げることで再発防止した。
- ・旧学芸ポータルについて、令和 5 年 7 月にお知らせ及びメッセージのデータバックアップ機能、閲覧ツールを提供し、令和 5 年 10 月に稼働を停止した。〈予算 A〉
- ・学生情報トータルシステム授業情報、学芸ポータル授業暦情報の教職員 Outlook 予定表連携機能を開発、実装した。〈予算 A〉
- ・授業ガイド（シラバス検索）を独自開発から学芸ポータルの機能に移行した。〈予算 A〉

(2) 遠隔授業のための環境整備

- ・昨年度に続き既存の LMS である e ラーニングシステム(WebClass)と教育機関向け Microsoft Office 365 を活用して実施。
- ・Microsoft 動画共有サービス「Stream (クラシック)」のサービス終了に伴う動画ファイルの移行作業の周知を行った。

(3) 情報セキュリティ施策・啓発

- ・情報基盤整備推進本部と連携し以下の情報セキュリティ施策・啓発を行った。
教職員向け情報セキュリティ自己点検、サーバ管理者向け情報セキュリティ自己点検、学生向けの SNS に関する情報セキュリティ研修、新人職員向け採用時研修、1 年生必修授業である「情報」で情報セキュリティ研修を実施。

(4) 附属学校 GIGA スクール構想関連

- ・附属学校の児童・生徒用アカウント発行、管理者ライセンスの配布など GIGA スクール構想実装の支援を行った。〈予算 L〉

(5) 情報システム室の運営

- ・上記事業を実施するために、情報システム室にて情報システムのメンテナンスや障害対応、ユーザサポート、他部署運用のシステム連携などの実務を行った。また、情報セキュリティインシデント発生時には被害拡大の阻止や原因の特定などの対応を行った。

1.2 教育 DX・教育情報化推進事業・ICT 支援員派遣事業

(1) 学内教育研究情報化推進事業の実施

- ・ 学内教育の情報化のために、e-Learning コンテンツの開発・利用促進・開発支援、教育用情報機器貸し出しサービス、クラウドベースの web サーバの管理運営を行った。〈予算 C, D, H, I〉
- ・ マルチメディア機器を整備した総合メディア教育館の管理運営、及び再整備を行った。〈予算 C, D, I, M〉
- ・ 映像作品、映像教材の開発を行うために情報教育演習室（情報メディアカフェ編集スタジオ）の管理運営、及び追加整備を行なった。〈予算 C, D, J, M〉
- ・ 遠隔講演・遠隔会議・オンデマンド映像教材収録用スタジオ（情報メディアカフェスタジオ）の管理運営を行なった。〈予算 C, D, J〉
- ・ ハイフレックス型授業用機器の管理運営、及び追加整備を行なった。〈予算 C, D, M〉
- ・ 附属学校（附属小金井小学校）における授業映像教材の開発を行うための環境整備を行なった。〈予算 M〉

(2) 教育情報化人材育成機能高度化事業の実施

- ・ 教育の情報化に対応した教育人材育成のために、附属小金井小学校及び近隣協力学校での教育実習において ICT 活用の体験と実践を行うプログラムを実施した。〈予算 C, D〉
- ・ 教育の情報化に関する学習・相談・交流をするための情報メディアカフェ、教育 ICT 機器を整備した新たな学びの部屋の管理運営、及び追加整備を行った。〈予算 C, D, M〉
- ・ 指導者用デジタル教科書貸出サービスの管理運用を行った。
- ・ 附属学校（附属小金井小学校）における教育情報化人材育成のための ICT 活用環境の追加整備を行なった。〈予算 M〉

(3) ICT 支援員・教育情報化相談員の派遣事業の実施

- ・ GIGA スクール実装支援、及び上記事業運営のため世田谷・小金井・竹早地区の 5 校に加え特別支援学校へ ICT 支援員を月 2～3 回派遣した。附属小金井小学校には教育情報化相談員を年 44 回派遣した。〈予算 B〉

(4) 情報メディアカフェオフィスの運営

- ・ 上記事業を実施するために、情報メディアカフェオフィス（特命教授，専門技術職員 2 名を雇用，教育情報化相談員 1 名）を運営した。〈予算 E, G〉

(5) TGU ポートフォリオシステムの運用・保守

- ・ 「教育実習日誌 e ポートフォリオシステム」（実習ポートフォリオ）について、令和 4 年度実施教育実習で得られたフィードバックに基づき機能改良を行った。9 月・10 月期及び 2 月・3 月期実施の附属学校・園での教育実習において実習ポートフォリオシステムの運用・保守を行った。また大学教員による実習ポートフォリオ閲覧機能を実装し、2 月・3 月期実施の教育実習において大学教員による実習ポートフォリオの試験利用を実施した。〈予算 K〉
- ・ 「TGU ポートフォリオシステム」（TGU ポートフォリオ）について、令和 6 年度の学生への本公開に向け、チャットボット機能の調整を行い、7 月に協力学生を対象とした試験利用を実施した。また試験利用の結果を踏まえ、11 月に在学生向けに試行公開を開始した。またその

間、TGU ポートフォリオの運用・保守を行った。〈予算 K〉

2 社会貢献事業

2.1 シンポジウム・ワークショップ・公開講座等の開催

(1) 教育フォーラム 2023

- ・ 12月3日（日）に、教育フォーラム 2023（東京学芸大学・3市連携 IT 活用コンソーシアム 主催）を共催として開催した（<https://it.u-gakugei.ac.jp/forum2023/>）。

2.2 教育委員会・学校等に対する支援

(1) 情報教育・プログラミング教育

品川区立大井第一小学校、町田市立木曽境川小学校、ひたちなか市教育委員会

(2) ICT 活用・GIGA スクール構想

青梅市立河辺小学校、青梅市立藤橋小学校、小平市立小平第三小学校、品川区立大井第一小学校、新宿区立落合第二小学校、立川市立第一小学校、多摩市立愛和小学校、八王子市立七国小学校、杉並区立方南小学校、立川市立上砂川小学校、練馬区立開進第一小学校、東京都立立川学園、浜松市教育委員会、清瀬市教育委員会、府中市教育委員会、八王子市教育委員会、益田市教育委員会、伊賀市教育委員会、岩手県教育委員会

(3) e ポートフォリオ，学習評価，教育 AI 活用

江戸川区立北小岩小学校、府中市立府中第八小学校、東京都立多摩科学技術高等学校、浜松市立西都台小学校、横須賀市立公郷中学校、川崎市立幸高等学校、三重県立桑名高等学校、東京海洋大学、帝京大学、東北学院大学

2.3 省庁事業への参画

(1) 文部科学省 「GIGA スクールにおける学びの充実事業」

- ・ 学校 DX 戦略アドバイザーとしての助言等を行った。

(2) 文部科学省「デジタル教科書・デジタル教材等の通信環境の調査研究事業」

- ・ デジタル教科書・デジタル教材等の通信環境の調査研究事業に関わる事業推進委員として有識者会議に参加した（座長）。

(3) 文部科学省 「次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進事業」

- ・ 事業推進委員及び先端技術の利活用に関する有識者として参画し実証団体の取組に関して専門的見地から指導及び助言を行った。

(4) 文部科学省「情報Ⅱ」高等学校情報科等強化によるデジタル人材の供給体制整備支援事業

- ・ 教科情報に関してこれまでに蓄積した知見を基に意見を述べた。

2.4 国内外部組織との活動

(1) 国立大学教育実践研究関連センター

- ・ 事務局を担当し、本学での総会（年 1 回）の開催の主催及び本学以外の大学での総会の支援を行っている。なお、今年度はオンラインで開催となったため〈予算 F〉のうち旅費の執行はなかった。

(2) 国立大学法人情報系センター協議会

- ・ 総会、担当者技術研究会、学術情報処理研究集会に参加し、他機関の情報系センター所員らと情報交換を行った。
 - ☞ 第20回国立大学法人情報系センター協議会総会（静岡大学：現地及びオンライン開催）・令和5年6月29日（木）・原田、森本、（情報基盤課）高橋、鈴木、竹原、前田、久保、丸山
 - ☞ 第27回学術情報処理研究集会（名古屋工業大学：現地開催）・令和5年9月5日（火）～6日（水）・（情報基盤課）久保
 - ☞ 第34回情報処理センター等担当者技術研究会（北見工業大学：現地開催）・令和5年9月14日（木）～15日（金）・（情報基盤課）竹原、前田

(3) eポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアム

- ・ 本コンソーシアムの定例研究会に参加し、加盟機関との情報交換を行った。
 - ☞ 令和5年度第1回定例研究会（Zoomによるオンライン開催）・令和5年7月18日（火）・森本、（情報基盤課）丸山
 - ☞ 令和5年度第2回定例研究会（Zoomによるオンライン開催）・令和5年12月20日（水）・森本、（情報基盤課）丸山

(4) 日本教育大学協会

- ・ 令和5年10月7日（土）開催の全国教育実習研究部門第37回研究協議会（オンライン開催）において「教育DXに向けた東京学芸大学における教育実習日誌のデジタル化の取組み」として丸山が発表を行った。

3 研究事業

3.1 外部資金研究事業

(1) プログラミング教育に関する研究

- ・ 科学研究費補助金：基盤研究（C）（令和3年度～令和6年度）「プログラミング教育で育む資質能力の系統化とそれをもとにしたカリキュラムの開発」（研究代表者：加藤直樹）

(2) 教育データ活用に関する研究

- ・ 共同研究：dynabook「教育・学習クラウドを活用した、ラーニングアナリティクスのための学習記録・履歴データの蓄積のあり方及び利活用の研究」（研究代表者：森本康彦）
- ・ 共同研究：株式会社ジャストシステム「デジタルドリルの学習履歴の可視化及びより効果的な活用法の探求」（研究代表者：加藤直樹）

(3) 教育システム開発に関する研究

- ・ 科学研究費補助金：基盤研究（C）（令和2年度～令和5年度）「総合的な学習の時間の電子ルーブリックを用いた資質・能力の評価法に関する基礎研究」（研究代表者：梶井芳明）
- ・ 科学研究費補助金：基盤研究（C）（令和3年度～令和6年度）「対話エージェントとダッシュボードを活用した自己調整を促すオンライン学習環境の構築」（研究代表者：高木正則）
- ・ 共同研究：日本データパシフィック「大学教育向け次世代eラーニングシステムの開発」（研究代表者：森本康彦）

- ・共同研究：東京ソフトウェア「小学校における実証実験を通じた新聞作成システムの開発」（研究代表者：加藤直樹）

(4) ICT を活用した新しい学びとその評価に関する研究

- ・科学研究費補助金：基盤研究（C）（令和3年度～令和5年度）「構成主義的教授・学習観に着目したハイブリット型授業力向上プログラムの開発と評価」（研究代表者：北澤 武）
- ・科学研究費補助金：基盤研究（C）（令和5年度～令和7年度）個別最適な学びと協働的な学びを充実させ成長を見える化する新時代 AI 学習評価システム（研究代表者：森本康彦）
- ・共同研究：JTB「旅行行事における e ポートフォリオを用いた学習活動の共同研究」（研究代表者：森本康彦）

3.2 学内資金研究事業

(1) 大学院教育改善に関する研究プロジェクト

- ・「教科横断的・探究型授業を基盤とした大学院生の ICT 活用指導力向上プログラムの開発」（プロジェクトリーダー：北澤武）に参加。

(2) DX 推進本部

- ・GIGA スクール連携 DX プロジェクト（プロジェクトリーダー：川手圭一）に参加。
- ・未来の学校 DX プロジェクト（プロジェクトリーダー：金子）に参加。
- ・教育実習 DX プロジェクト（プロジェクトリーダー：小嶋）に参加。
- ・学生サポート DX プロジェクト（プロジェクトリーダー：濱田）に参加。

4 教育事業（学内教育組織への参加）

4.1 学部教育

(1) 学校教育群情報教育教室／情報教室、教育支援群情報教育教室

- ・授業担当：「HCI」「授業における ICT 活用」「情報コース入門セミナー」「情報教育コース入門セミナー」「対話メディア工学演習」「ICT 教授学習支援演習」「教職実践演習」「教育実地研究 I」「教育実地研究 II」「卒業研究」
- ・学生指導：26 名（森本 15 名、加藤 11 名）

(2) その他

- ・共通 SE 科目「小学校におけるプログラミング教育」
- ・学校教育群国語教育教室「国語科と情報」（2 コマ）を担当。

4.2 大学院（修士課程、教職大学院）

(1) 教育支援協働実践開発専攻（教育 AI 研究プログラム）

- ・授業担当：「人間情報学論」「データ・アナリティクス実践論」「教育ポートフォリオと教育ビッグデータ」「フィールド研究」「特別研究」
- ・学生指導：26 名（うち留学生 3 名）（森本 11 名（うち留学生 3）、加藤 5 名）

(2) 教職大学院：教科領域指導プログラム（情報教育サブプログラム）

- ・授業担当：「教科横断型情報教育と ICT 活用における教材作り」
- ・学生指導：1 名（加藤 1 名）

4.3 大学院（博士）

(1) 生活・技術系教育講座

- ・ 学生指導：3名（森本3名）
- ・ 部会副代表（森本）

5 出版・公開事業

5.1 出版物

(1) flick! ～ICT/情報基盤センター通信～ の発刊

- ・ ICT/情報基盤センターの広報活動のための flick!を Vol. 10 を発刊した。

(2) 国立大学教育実践研究関連センター協議会年報の発行

5.2 Web サイトの運営

- ・ ICT/情報基盤センターWeb サイトの運営
(<https://cict.u-gakugei.ac.jp/>)
- ・ ICT/情報基盤センター情報システム室 Web サイトの運営
(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>)
- ・ ICT/情報基盤センター教育情報化研究チーム Web サイトの運営
(<https://scrapbox.io/TGU/>)
- ・ 東京学芸大学遠隔授業実施に向けた情報サービス解説サイト運営
(<https://fm.u-gakugei.ac.jp/>)
- ・ ICT センターシステムリプレイス情報サイト運営
(<https://ictc.u-gakugei.ac.jp/rp/>)
- ・ 用途用アカウント移行関連情報サイト運営
(<https://ictc.u-gakugei.ac.jp/ac/>)
- ・ 先端教育人材育成推進機構 教育実習グループ
(<https://crsep.u-gakugei.ac.jp/tp/>)
- ・ 国立大学教育実践研究関連センターWeb サイト運営
(<https://cerd.u-gakugei.ac.jp/>)

6 事業予算

(A) 附属施設経費

(B) ICT 支援員派遣事業費（GIGA スクール推進経費）

(C) 教育 DX・教育情報化推進事業費（教育研究事業費）

(D) 特殊装置維持費

(E) 施設センター運営費

(F) 施設センター運営費（全国大学組織運営事業経費）

(G) 特命教授等人件費・特命教授等旅費

(H) 教育研究整備充実費（維持管理費1：クラウドサーバ）

- (I) 教育研究整備充実費（維持管理費 2：総合メディア教育館講義システム）
- (J) 教育研究整備充実費（新規物品購入費：映像教材加発環境）
- (K) TGU ポートフォリオ維持経費（システム等維持・保守経費）
- (L) 附属学校児童・生徒の端末管理用ライセンス費（ソフトウェアライセンス経費）
- (M) 設備整備費補助金（次世代の学びの形に対応できる教育人材育成機能充実のための ICT 活用環境整備）